

平成29年度 学校評価（教職員自己評価）

（4：十分 3：ほぼ十分 2：やや不十分 1：不十分）

基本方針	評価項目	評価(4段階)		比較
		1回目	2回目	増減
重点目標	1 【すすんで考え・行動する】自分から進んで考え、しっかりと話す・話し合う・行動する	3.3	3.4	0.1 ↑
	2 【ひびきあい】認め合い、励まし合い、協力し合って活動できるように指導している。	3.4	3.4	→
	3 【すすんであいさつ】すすんであいさつができるように指導している。	3.2	3.2	→
確かな学力	4 ”見通し・振り返り・確認”を重視した「わかる」授業を展開している。	3.6	3.5	0.1 ↓
	5 「つく指導」を基本とし、子どもの見取りを指導に返しながら、子どもの可能性を引き出し、伸ばしている。	3.7	3.6	0.1 ↓
	6 一斉授業とアクティブラーニングのバランスを重視した、「やる気」と「動き」の見える授業を構築している。	3.3	3.3	→
	7 書いたり、読んだり、話し合ったりするなど、言語活動の充実を図る授業・学習活動づくりに努めている。	3.7	3.8	0.1 ↑
	8 基礎的・汎用的能力、ICT活用能力の育成を図っている。	3.1	3.4	0.3 ↑
	9 子どもの情意的側面を重視した多様な評価方法を取り入れ、その累積と分析から授業改善を図っている。（作品やノートに一言など）	3.7	3.9	0.2 ↑
	10 学校経営方針に基づく校内研修を確立と計画的な推進に努め、授業改善を通じて、資質や専門性の向上に努めている。	3.3	3.3	→
	11 一人一人のよさを把握する評価を行い、保護者への説明責任を果たしている。	3.7	3.4	0.3 ↓
	12 習得した学習内容の定着を図るため、宿題や家庭学習などの指導の工夫に努めている。	3.7	3.7	→
豊かな心	13 地域素材の教材化・地域の人材活用と体験的学習、問題解決の学習の推進に努めている。	3.6	3.8	0.2 ↑
	14 「私たちの道徳」などを活用しながら、心に響く道徳の授業づくりを行っている。	2.6	2.8	0.2 ↑
	15 子どもの発想や関心を生かし、自分のよさを実感させる場が保障されている。	3.3	3.3	→
	16 深い児童理解と信頼関係に基づく生徒指導の充実に努めている。	3.6	3.5	0.1 ↓
	17 子どもの情報や問題行動について、共有化し組織的な対応を行っている。	3.5	3.4	0.1 ↓
	18 いじめ根絶に向け、「途別小学校いじめ防止基本方針」に基づく対応に努めている。	3.7	3.8	0.1 ↑
	19 特別な教育支援を要する児童に対応できる全校指導体制の工夫を図っている。	3.8	3.8	→
	20 共感的な理解のもと、心の居場所となる安心・安定感のある学級経営に努めている。（遊びや活動を通じた人間関係の醸成）	3.6	3.6	→
	21 全ての子どもに言葉・心・手をかけ、共感的に児童理解を深めている。	3.7	3.7	→
健やかな体	22 絶えず危機意識をもって児童の生命を守り、自ら健康安全に努めようとする習慣や態度の育成に努めている。	3.5	3.7	0.2 ↑
	23 子どもの体力向上に向けて、体力テストの活用をはじめ、体育の授業改善や遊びの重視に努めている。	3.3	3.1	0.2 ↓
	24 全ての教育活動を通して、子どもの安全確保に努めている。	3.6	3.7	0.1 ↑
	25 学ぶ意欲と豊かな心を育てるきれいな学校づくり（清掃・掲示物）に努めている。	3.4	3.3	0.1 ↓
	26 安全管理意識を高め、事故の未然防止と適切な対応に努めている。（報告・連絡・相談・記録）	3.4	3.3	0.1 ↓
開かれた信頼される学校	27 学校や学級の教育目標の達成に向けた意欲的な経営参画をしている。	3.5	3.6	0.1 ↑
	28 時数確保に努め、教育課程における各教科・領域との関連を図り、効果的な指導や工夫改善を図っている。	3.2	3.4	0.2 ↑
	29 学校の教育活動について、広く地域や保護者に公開し説明を行っている。	3.5	3.7	0.2 ↑
	30 保護者の願いや思いを真摯に受け止め、対応している。	3.7	3.6	0.1 ↓
	31 職能向上に向けた研修機会や会議等に積極的に参加している。	2.8	3.0	0.2 ↑
	32 教育公務員としての服務規律の順守に努めている。	3.7	3.7	→

◆職員の自己評価に基づく学校課題の解決に向けて……

・次年度から導入される特別な教科「道徳」に備え、年間指導計画と別葉の作成を行う。